

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 福田 香織

研修会名 財政問題としての公共施設マネジメント「総面積削減」発想からの転換

日 時 8 月 23 日 10 時 00 分～

場 所 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター

【研修の成果】

〈数年間で進化してきた論点〉

- ・面積縮減から、財源確保対応策へ・役に立たない「机上の計画」
- ・老朽化による事故を未然に防ぐ必要を認識・公会計改革との連動（特に固定資産台帳）
- ・包括的保守点検管理委託が有効な第一歩・安全確保と縦割構造による間接コスト削減
- ・複合館モデル事業設定の必要性・行財政改革の「要」としての位置付け

庁舎は立派なものである必要はない。ライフサイクルコストは、建設費の2～3倍かかるのだが、多くの自治体は、維持管理計画を立てていない。

概ね建物の寿命は50年、設備は20年である。

〈公共施設等総合管理計画の限界〉

・総務省の「要請」の成果と限界 → 国の省庁がそもそも縦割り・なぜ、「公共施設等総合管理計画」だったのか・総務省の「武器」は交付税と地方債枠・「実践」よりも、「計画策定」が優先？・99.6%が計画策定しても、「実践」は少ない・自治体を「計画漬け」に追い込む「個別施設計画」

〈従来型「総合計画」の限界〉

・5年先も見通せない「温暖化、激変社会」・積み上げ型総合計画、発想の限界・いずれ実現する「拡充」型（誰もが積極的）・合意形成が難しい「縮充」型（誰もが消極的）・成功には「公民連携」が不可欠（行政の限界）

「総論賛成各論反対」は、実は、庁内の課題であった。

公共施設の統廃合に対して最初に抵抗するのは当該施設を所管する自治体職員であることが多い。利用者が反対する可能性が高いことを想定して、その矢面に立つという面倒な仕事を増やすよりは、利用者や利用実態が分かっている（情報量が多い）ことから、統廃合ができない理由をいくつも主張して、統廃合をできるだけ遅らせるという反応である。

費 用

旅費： 円 研修参加費：15,000 円 合計：15,000 円

31.3.26

第

号

領収書等添付用紙	議員名	福田香織
調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		
領収証 福田 香織 様 30 年 8 月 23 日 ★ ￥15,000 但 8/23 10:00～「財政問題としての公共施設マネジメント」 研修会受講代として 上記正に領収いたしました 一般社団法人地方議員研究会 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639 TEL 06 (7878) 6297		

公共施設マネジメント と公会計改革

in東京

8/23_木

10:00~12:30

財政問題としての 公共施設マネジメント

- ・面積縮減の目標設定だけではミスリード
- ・「総論賛成各論反対」は突破できる
- ・財政破綻を回避するためのマネジメント

14:00~16:30

公共施設マネジメントから 始まる本格的行政改革

- ・公会計改革で、見えた膨大な維持管理費
- ・公共施設は使われていなかった
- ・民間資金・ノウハウの徹底活用

8/24_金

10:00~12:30

指定管理者制度で 「稼ぐ施設」の実現

- ・誤解だった「指定管理者制度は全部を委託」
- ・指定管理料ゼロも可能に
- ・間違いだらけのリスク分担と評価

14:00~16:30

公会計改革による 自治体「経営」

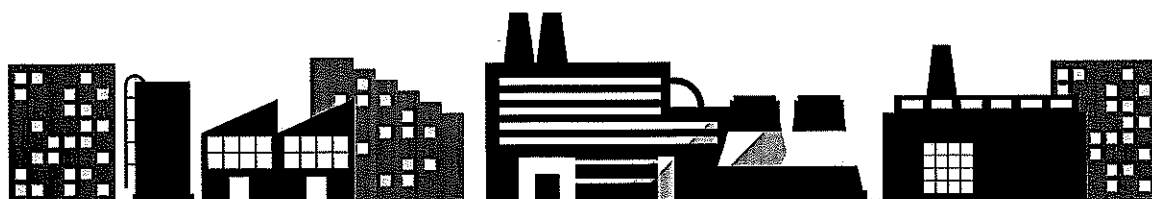
- ・「カネ」はなくとも「資産」で経営
- ・フルコストが見えれば、「改革」が見える
- ・決算重視と成果指標の設定

講師ご紹介

みなみ まなが
南 学

東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授。三重県政策アドバイザー(行財政改革専門委員会委員)、さいたま市公共施設再配置検討委員会委員、鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員、習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会委員長、高浜市公共施設マネジメント委員会委員長、横須賀市公共施設再配置検討委員会委員長、所沢市総合計画審議会会長、八千代市公共施設検討委員会委員、ふじみ野市行政改革推進委員会委員長

【研究分野】自治体政策・マネジメント、高等教育
東京大学卒業後、横浜市役所に入職。環境事業部、経済局、総務局、市立大学事務局、市長室、企画局を歴任。2000年から静岡文化芸術大学助教授、2002年から横浜市参事、2004年から神田外語大学教授。2005年から横浜市立大学理事兼務、2011年から神奈川大学人間科学部特任教授を経て、現職。自治体行政サービスのABC分析で先駆的な研究を公表。自治体政策・マネジメント分野での著書、論文執筆、講演多数。著書に「自治体アウトソーシングの事業者評価」「行政経営革命「自治体ABC」によるコスト把握」等。論文・報告書に「公共施設マネジメント」(『地方財務』連載中)等。



地方議員研究会

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ ☒ チェックください。

	8月23日(木)	8月24日(金)
10:00 12:30	☐ 財政問題としての 公共施設マネジメント	☐ 指定管理者制度で 「稼ぐ施設」の実現
14:00 16:30	☐ 公共施設マネジメントから 始まる本格的行政改革	☐ 公会計改革による 自治体「経営」

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期日)
電話番号	() -	FAX番号	() -
E-mail	@ .		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他 ()		
当日不参加の場合はチェックください		☐ 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等はいらないことに同意して申込みます	

開催
場所

**TKP東京駅八重洲
カンファレンスセンター**

【4講座同場所】 〒104-8388東京都中央区
京橋1-7-1戸田ビルディング

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地 方 議 員 研 究 会

TEL **06-7878-6297**

FAX **06-7878-6308**

メール **mail@chihogiken.jp**

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



東京駅 八重洲中央口より 徒歩5分

赤い「紳士服コナカ」の看板が目印

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名

福田香織

研修会名

全国市議会議長会研究フォーラム

日 時

11月14日 13時00分～ 11月15日 12時00分

場 所

宇都宮市文化会館

【研修の成果】

課題討議「議会と住民の関係について」

久慈市議会の事例報告

- ① 参加者が集まらない
- ② 参加者が年配男性に偏る
- ③ 特定の人だけが発言し、他の人が発言できない
- ④ 議会や行政に対する不満・陳情に終始する
- ⑤ 会場の雰囲気が悪い

①～⑤ 議会報告会の失敗から逆転発想へ
 「伊賀市議会でも同じ課題がある」
 市民と議会が協力できる場

議会が市民の意見を聴く
 議会と市民、また市民同士で意見を交わす。

対話手法：ワールドカフェ形式

対話スキル：ファシリテーション → 議員は7泊7日研修を受けた

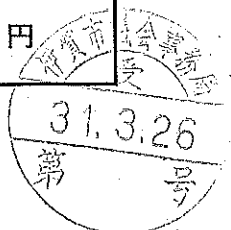
- ◇ 空間のデザイン → 飾り付けなどには工夫
- ◇ 参加者のデザイン → セタクロスの格好もあるなど
- ◇ プログラムのデザイン
- ◇ プロセスのデザイン

◎ 伊賀市議会が取り組み始めた「グリーニング」に

グライに参考になりました！

費 用

旅費：50,220円 研修参加費：7000円 合計：57,220円



旅 費 請 求 書 続 紙 (新政クラブ)

出張 月 日	出発地	経路	到着地	鉄 道 ・ 船 ・ 車 賃				食卓料	日 当		宿泊料		出張理由 (目的・場所)
				料程	運 賃	特急料金 急行料金	寝台料		日数	額	宿泊	額	
11月14日	伊賀神戸	近鉄	名古屋	112.2	1,560	1,320							第13回全国市 議会議長会 フォーラムin宇 都宮(1日目) 宿泊代9800 円(1泊朝食付 き)+夕食代 1700円
	名古屋	新幹線	東京	366.0	7,560	4,630							
	東京	新幹線	宇都宮	109.5		2,790			1	1,500	1	11,500	
	宇都宮	新幹線	東京	109.5	7,560	2,790							
11月15日	東京	新幹線	名古屋	366.0		4,630							第13回全国市 議会議長会 フォーラムin宇 都宮(2日目)
	名古屋	近鉄	伊賀神戸	112.2	1,560	1,320			1	1,500			
計					円	円	円	円		円		円	合 計
					18,240	17,480			2	3,000	1	11,500	50,220

領収書等添付用紙	議員名	福田香織
調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

領収証

No.

福田香織様

H30 年 10 月 26 日

金額	4	3	5	7	2	0
----	---	---	---	---	---	---

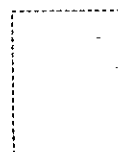
内
消費税等

但 1/14~15 交通費
上記正に領収いたしました

現金			
小切手			

HISAGO #778

三重県伊賀市上野宮之内500
コスモス観光ハイトピア伊賀店
TEL 0595-22-1188
FAX 0595-22-1186



No.0201-1-1

領収証 RECEIPT

福田 香織 様

下記の金額正に領収いたしました。

¥9800 *

J T B 宇都宮支店

宇都宮市池上町4-1

TEL : 028-614-2001

平成 30 年 11 月 26 日



出納責任者	取扱者

第 13 回全国市議会議長会研究フォーラム
但し、宿泊代として (1 泊朝食付)

領収箇所名及び領収者印の無いもの並びに金額訂正のものは無効です。

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

平成30年11月22日

伊賀市議会 福田 香織 様

参加費領収書

第13回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 山田



東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

参加代金として

平成30年11月14日・15日開催 (宇都宮市)

第13回

全国市議会議長会 研究フォーラム

National Association of Chairpersons of City Councils



資料集

開催日:平成30年11月14日(水)・15日(木)

場 所:宇都宮市文化会館

主催:全国市議会議長会 後援:総務省

実施:第13回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

目 次

■ 基調講演

宮本 太郎 氏 (中央大学法学部教授)	1
---------------------------	---

■ パネルディスカッション

江藤 俊昭 氏 (山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授)	19
-------------------------------------	----

今井 照 氏 (公益財団法人地方自治総合研究所主任研究員)	24
-------------------------------------	----

※神田誠司氏の資料は、別添資料をご参照ください。

■ 課題討議

江藤 俊昭 氏 (山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授)	29
-------------------------------------	----

桑田 鉄男 氏 (久慈市議会副議長)	36
--------------------------	----

伊藤健太郎 氏 (新潟市議会議員 新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチームリーダー)	40
--	----

ビアンキ アンソニー 氏 (犬山市議会議長)	52
------------------------------	----

道法 知江 氏 (竹原市議会議長)	59
-------------------------	----

久慈市議会 事例報告

桑田 鉄男 氏（久慈市議会副議長）

久慈市議会 事例報告



報告者

久慈市議会副議長 桑田 鉄男

主な議会改革の取組み

- ◆ 前文方言の「議会じえじえ基本条例」
- ◆ 住民と議会が協働する場「かだって会議」
- ◆ 袖ヶ浦市議会との議会間友好交流協定
- ◆ 議会のICT化（タブレット端末）
- ◆ 災害時議会マニュアルの策定・発動
- ◆ 議長のほか常任委員長の所信表明
- ◆ 通年会期制の導入
- ◆ 議会のあり方検討会議の常設（定数・報酬）
- ◆ リニューアル議会広報誌「かだってタイムズ」
- ◆ 委員会代表質問（委員連携型）

新潟市議会主権者教育推進プロジェクト

伊藤健太郎 氏（新潟市議会議員 新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチームリーダー）

新潟市議会 主権者教育推進プロジェクト

新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチーム
チームリーダー 新潟市議会議員 伊藤健太郎

第13回全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮

プロジェクト開始までの経緯

○経緯

有志議員（平成27年一般選挙で初当選した議員13名）が「議員として、学校等と協働で主権者教育を進められないか」と発案

↓

市議会として対応することを決定

平成28年 2月29日 勉強会（講師：新潟県立大学 田口一博准教授）
「議会による主権者教育の取り組みについて」

平成28年 5月27日 研修会（別紙「主権者教育に関する新潟市議会としての対応について（骨子）」説明）

平成28年 6月 7日 主権者教育推進に係る（仮称）実行委員会を開催

平成28年 6月14日 新潟市議会主権者教育推進プロジェクトチームを設置、第1回会議を開催

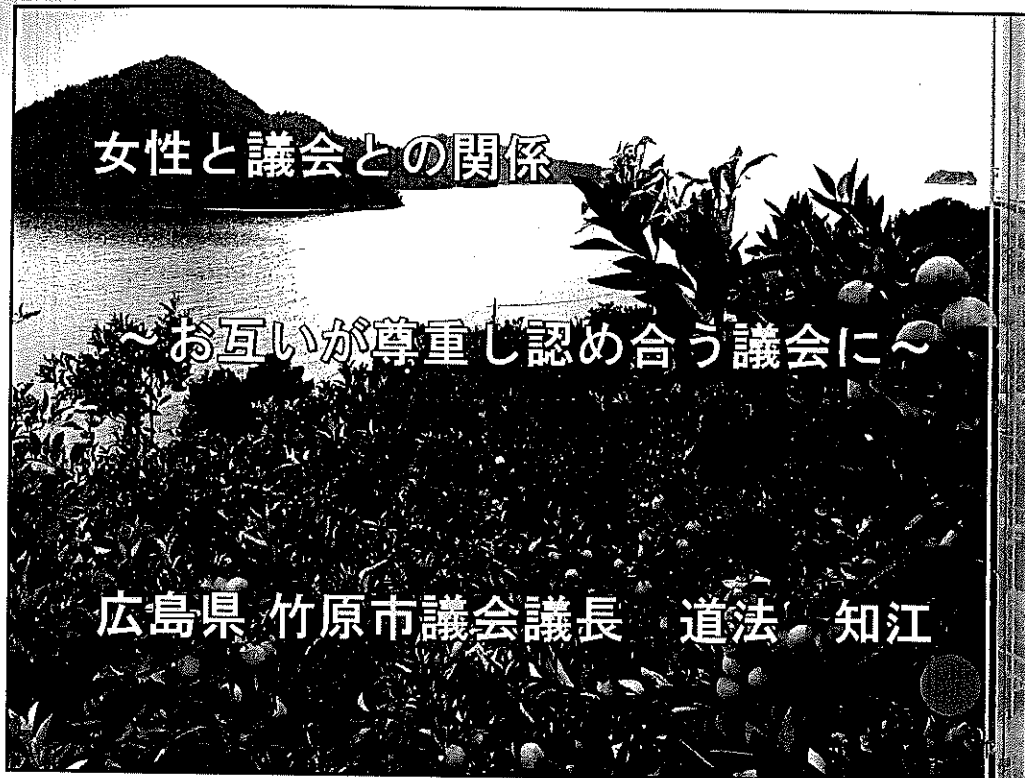
以降、プロジェクトチームで具体的な実施内容等を検討

平成28年12月21日 市立新潟高志中等教育学校にて、初回のプログラム実施

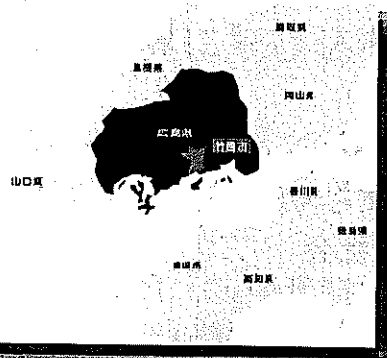
若者向けへの発信がまだ無かったため

女性と議会との関係～お互いが尊重し認め合う議会に～

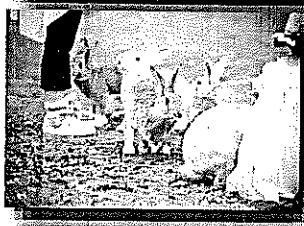
道法 知江氏（竹原市議会議長）



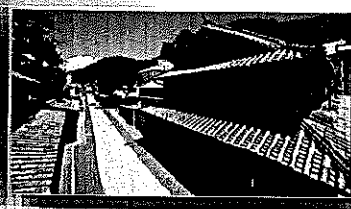
竹原市の紹介



- 面積 118.23km²
- 人口 25,739人
(平成30年9月末現在)
- 今年で市制60周年



ウサギの島



町並み保存地区



池田勇人